

妊婦貧血と児の発育・産後うつの関係

受付番号	S202002
研究課題名	妊婦貧血と児の発育・産後うつの関係
研究の対象	2018年11月～2019年10月までに当院で出産され、妊娠初期から産後1か月健診まで継続して受診された患者さんの診療録を使用します。
研究責任者	佐藤 雄一
研究分担者	水出恵子、小川淳子、木内愛子、佐藤美智子、増山葉月、福田小百合、本田由佳
目的	妊婦の貧血・鉄欠乏と児の発育、産後うつとの関連を示す報告があり、当院での妊婦の栄養、特に今回は鉄欠乏に焦点をあて、研究する。
方法	診療録から解析データベースを作成し、貧血・鉄欠乏と児の発育・産後うつの発生を検討する。
研究に利用する情報の項目	佐藤病院の診療録 1.妊産婦：母体の身長・体重・BMI、非妊時体重・BMI、妊婦健診時の血液検査データ、産後2週間と産後1か月のエジンバラ問診票得点、産後1か月の血液検査データ 2.産後1か月の児の日齢と体重
医学・倫理的配慮	本研究は、ヘルシンキ宣言に従って実施する後ろ向き観察研究であり、患者さんの過去の診療録のみを使用する調査です。 研究対象者の情報は、診療録から個人が特定できないように匿名化し、個人や家族の人権の侵害や、提供者への危険や不利益が及ばないようにいたします。 研究成果を学会や学術論文で発表させていただくことはありますが、その際も、対象者のプライバシーを保護し、個人が特定できないようにいたします。 本研究は医学系指針ガイダンス第12の4の規定に則り、患者さんへの個別の説明は行いませんが、本研究への参加を拒否したい患者さんは、研究担当者にその旨を連絡することで、データの使用を中止できます。
期間	2020年2月10日（倫理委員会承認後）～2022年1月31日
研究成果から期待されること	妊婦貧血と児の発育・産後うつの関連を明確にすることで、児の発育を促した産後うつを予防する栄養指導を検討することに役立てられます。
利益相反	本研究は特定企業からの資金援助はありません。